

山口大学医学部附属病院
腫瘍センター年報
2020



山口大学医学部附属病院 腫瘍センター年報2020 -目次-

2 ご挨拶

4 外来化学療法室利用状況

5 山口大学医学部附属病院
免疫関連有害事象マネジメントチーム

6 ICI阻害剤投与

7 副作用による院内からの紹介患者リスト

8 副作用による他院からの紹介患者リスト

9 報告

- 令和2年がん相談支援センター報告
- 令和2年院内がん登録室報告

11 山口大学 BEST CASE SERIES

- 30歳代男性、直腸癌 StageIIIc
- 40歳代女性、横行結腸癌・肝転移 StageIV
- 40歳代男性、混合型肝癌 StageV
- 80歳代女性、肝内胆管癌

16 編集後記

ご挨拶



山口大学医学部附属病院 腫瘍センター長

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 教授

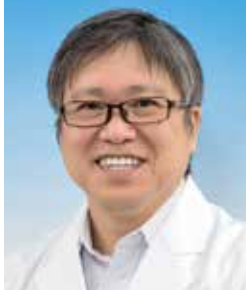
永野 浩昭

令和2年4月1日より、山口大学医学部附属病院・腫瘍センター長を拝命しております永野浩昭です。本年度より、当センターの活動の一環として「年報」を発行することになりましたので、一言ご挨拶申し上げます。

当センターは、平成18年に山口大学の癌診療・教育・研究を統括する中央診療施設として設立されました。さらに、都道府県がん診療連携拠点病院に認可され、山口県全体のがん治療の中心的役割を担うこととなりました。本センターは、院内の“外来腫瘍治療部門”と“院内がん登録室”の2つを管理するとともに、“患者支援センター”と“診療録センター”の協力・支援のもと、山口県における最先端のがん治療を提供することに邁進しています。その中で、“外来腫瘍治療部”は抗がん剤治療を中心とした診療の中核をなし、QOLを損なわずに患者さんが安心して快適な外来化学療法を受けて頂けるように、院内各診療科とも密な連携をとりながらきめ細かなサービスを提供しています。“院内がん登録室”は、がんに対する情報を蓄積し、これからの山口県のがん治療の在り方を模索し発展させることを目的としています。

また、令和2年4月1日より、山口県では初めての消化器がん治療を専門とする腫瘍内科医として井岡達也が大阪国際がんセンターより着任いたしました。このことで、山口県のがん診療は新たなるステージに向けて大いなる一步を踏み出すことになりました。この1年間の活躍については、本年報でも十二分にご確認いただけるものと思っております。

今後も、山口県のがん診療の充実を図るため、スタッフ一同努力してまいりますのでご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



山口大学医学部附属病院 腫瘍センター 准教授

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学(兼任)

井岡 達也

令和2年4月1日に、山口大学医学部附属病院・腫瘍センターに着任いたしました井岡達也です。簡単に自己紹介させていただくと、私は平成2年3月に日本大学医学部卒業し、同年から郷里の栃木県にある自治医科大学消化器内科に入局いたしました。内科医であるのにもかかわらず腹腔鏡的胆嚢摘出術に取り組む肝臓グループで研鑽を積み、平成8年7月から大阪府立成人病センター（現在の名称は、大阪国際がんセンター）に異動し、令和2年3月までの24年間お世話になりました。同センターでは、膵癌早期診断のための検診技法の開発や、切除不能の膵・胆道癌に対する薬物療法の開発に取り組んでまいりました。ミルクティーを被検者に飲用していただき、半坐位でエコー検査を行う特殊な検査をご紹介するために、NHK「ガッテン」に2回出演させていただきました。今回、永野教授から御縁を頂戴して山口大学に着任させていただきました。

着任後、まず、抗がん剤の入院レジメンの導入について企画し、全ての注射抗がん剤についてレジメン管理するようにさせていただきました。レジメン登録にあたり、ガイドラインで推奨されている標準療法か、倫理審査委員会にて承認されている研究的レジメンのみに限定いたしました。各科にて伝統的に実施されているレジメンを採用できないなど、各科にはご迷惑をおかけしたと思います。また、電子カルテのシステム運用やレジメン審査など、関係各部署の皆様のご協力、そして、面倒なレジメン申請におつきあいいただいた各科の先生方のご理解なしには実現できなかったと思います。このプロジェクトを通じて、私自身、オール山口大学の素晴らしいパワーを実感することができました。

また、イリノテカンの副作用を左右する遺伝子多型であるUGT1A1の検査のオーダーを電子カルテ上のワンクリックで可能にしたり、その検査結果をほかの検査と同様に電子カルテ上に表示できるようにいたしました。抗がん剤投与の際に重要な腎機能も、eGFRとともにCG式計算式によるCCR（クレアチニンクリアランス）も表示できるように改善いたしました。私たちは、一つひとつは小さな変化ですが、臨床現場の皆さんの業務が少しでもスムーズになることを目指しています。

原発不明癌に対する薬物治療や免疫チェックポイント阻害薬の有害事象対応など、腫瘍センターがお手伝いできることがあれば、何なりとご相談ください（診察日は、月曜日と木曜日）。